

# Biz [ ビズスタ ] Life Style



伝説を語り続ける、カルティエウォッチ。

*Pasha de Cartier*  
新たな道を進む自由なクリエイティビティ



Maud Remy-Lonvis © Cartier

同じくルイの画期的な創造力を、今もなお鮮やかに映し出す時計がこの「タンク」である。「タンク」が登場したのは、サントヘの誕生から13年後のこと。新聞「イリストラシオン」で第戦部隊の記事を目にしたルイは、戦車のフォルムから「タンク」を着想。当時流行していた「デコ」のデザインと融合させ、当時の主流であった懐中時計のラウンド型から一転、二本の縦型の直線を基調とする角型のシェイプを生み出した。時代の息吹を腕時計という「リエンジニア」に落とし込んだこの「タンク」は、まさに先見の明を持つルイ・カルティエの手腕があつてこそ生み出されたものといえるだろう。

その「タンク」に2000年、新たなモデルが加わった。ここに紹介するのは、1922年にデザインを刷新した「タンク・ルイ・カルティエ」(Cal.1917 MC)の「レム・エイト」(Cal.1917 MC)の「レマスト」と「タンク・LC」を融合させた新たなコレクションの「タンク・マスト」(Cal.1917 MC)を再解釈し、1989年に登場した「タンク・アメリカン」だ。

極めて正方形に近かったオリジナルの「タンク」からケースの縦枠を伸ばし、角を丸くした「タンク・LC」は、レイルホワイトラック、サファイアカボション、ローマンインデックスなど、カルティエに受け継がれるアイコニックなデザインを構築した時計としても知られている。ルイ自身も愛用した「タンク・LC」に今年新たに添えられたのは、レッドとブルーの色彩。アール・デコのミナメル装飾を彷彿させるクラシカルな趣とコンテンポラリーな色遣いが見事な融合を果たした。そしてステンレススティールで日常にも使いやすい「タンク

マスト」は、「タンク・LC」のフォルムを受け継ぐ時計。写真のダイヤモンドモデルのほかにソーラームーブメントを搭載した時計もあり、「タンク」の歴史を塗り替えた「レマスト」コレクションの再解釈もなされている。熱狂的な愛好家の多い「タンク・アメリカン」まで、今年の新作はコレクションの魅力を存分に味わうことのできるラインナップ。既に完成されたスタイルに現代のサヴォアフェールを添えることで、伝説の腕時計は今もなお色褪せぬ物語を語り続ける。

**自由なエスプリを宿した多彩なラインナップ**

そして昨年の刷新以降、話題を提供し続ける時計が「パシャ」だ。1985年に誕生した「パシャ」は、カルティエの自由なエスプリを描くコレクション。オーストリアの高官の称号である「パシャ」の名を持つ時計は、1943年にマラケシュのパシャ大公であったエル・ジャウイ公からの依頼から誕生した。水辺で使える時計を望む大公のオーダーから、カルティエは「パシャ」の原型となるラウンドウォッチを考案。それを原型に、1985年に新たなウォッチコレクションとして確立される。特徴的なねじ込み式のリュウズとリュウズカバー「アラ」数字を用いたクロノグラフのほか、ムーブメントを眺めることのできるスケルトンモデルなど、ラインナップはさらに充実。かつ昨年、シテンターレスウォッチとして話題を呼んだ直径35ミリのサイズに加えて、今年はエレガントな直径30ミリも登場した。自分で簡単にストラップが交換できるインターチェンジャブル仕様も施されるなど、インディペンデントにふさわしいスポーツウォッチとしての堅実なアップデートも見逃せない。



パシャドゥ カルティエ  
CRWHPA0017  
41mm 自動巻き (Cal.1904-CH MC)  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ2本  
2,877,600円(税込)

© Cartier



パシャドゥ カルティエ  
CRWJPA0017  
30mm クォーツ  
ピンクゴールド、ダイヤモンド  
アリゲーターストラップ2本  
2,244,000円(税込)

© Cartier



© Cartier

パシャドゥ カルティエ  
CRWHPA0007  
41mm  
自動巻き (Cal.9624 MC)  
ステンレススティール  
ステンレススティールプレスレット  
アリゲーターストラップ1本  
3,273,600円(税込)



Laziz Hamani © Cartier

歴史的な伝統と  
現代の革新が生む  
洗練のスタイル

時計と宝飾において  
活躍してきた稀有なるメゾン

カルティエのクリエイションを語るうえで、常に欠かせないものがある。それは、「スタイル」という言葉だ。芸術において時代この作風や様式を指し示すこの言葉をメソンの歴代の作品にこそ、培ってきた独自の美意識を自らの財産としてきた。時代を見据える革新的な発想を伝統の中へと織り交ぜること、カルティエは既に完成されたスタイルを、未来に向けた新たなクリエイションとして表現し続けてきたのである。

カルティエの根幹を築き上げた人物とされるのが、メソンの3代目当主となるルイ・カルティエだ。創業者の孫であるルイ・ビエール・ジャックの3兄弟が活躍した20世紀初頭にメソンの飛躍的な発展を遂げるようになる。それは文化が興り、繁栄したベルエポックの時代から第一次世界大戦へと



Maud Remy-Lonvis © Cartier

移り変わる時代のこと。カルティエはロシアやイギリス、インドなど世界中の王侯貴族たちを顧客に迎え、稀少なハイジュエリーの数々を生み出していた。かつ、長男のルイはメソンで初めての腕時計を生み出した。1904年に友人である飛行家アルベルト・サントス・デ・モンテの依頼で、ケースとストラップを一体化した腕時計を考案。20世紀のバリの空を駆け巡ったブラジル人飛行家の時計は、今でもメソンの代表的なコレクション「サントス」(Cal.1917 MC)として受け継がれている。21世紀の現代、時計と宝飾の両輪において活躍し続けるメソンの姿は、この草創期の時代に既に確立されていた。



Maud Remy-Lonvis © Cartier



© Cartier

タンク ルイ カルティエ  
CRWGTA0059  
LM (33.7×25.5mm)  
手巻き (Cal.1917 MC)  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,636,800円(税込)



© Cartier

タンク ルイ カルティエ  
CRWGTA0058  
SM (29.5×22.6mm)  
手巻き (Cal.1917 MC)  
ピンクゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,636,800円(税込)



© Cartier

タンク マスト  
CRW4TA0016  
SM (29.5×22.6mm)  
長寿命クォーツ (約8年)  
ステンレススティール、ダイヤモンド  
カーレザーストラップ  
748,000円(税込)



© Cartier

タンク アメリカン  
CRWGTA0040  
MM (41.6×22.6mm)  
自動巻き  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,702,800円(税込)

## Panthère 多彩な魅力を見せる永遠の“パンテール”



Nils Hermann © Cartier

カルティエのジュエリー&ウォッチにおいて、圧倒的な存在感で世界中の女性たちを魅了してきたモチーフが、「パンテール」である。エキゾチックな趣を見せるしなやかな豹の姿は、実に様々なデザインの中に描かれてきた。

最初に「パンテール」が登場したのは1914年のこと。当時カルティエのデザイナーであったシャルルジャコブが手掛けた、ブラックオニキスとダイヤモンドを施したプレスレットウォッチである。白と黒のパンテールパターンを用いたグラフィカルな美しさは、その後のメゾンのクリエイションに多大な影響を与えることとなる。殊に「パンテール」の創造力を開花させた女性が、1933年からジュエリーのアーティスティックディレクターを務めたジャンヌトゥーサンだ。自らも「パンテール」と呼ばれ、このモチーフをこよなく愛した人である。トゥーサンが最初に手掛けた「パンテール」のジュエリーが、1949年にウィンザー侯爵夫人のために製作したブローチ。サファイアカボションの上に優雅に佇むパンテールの姿は今見ても必見の美しさであり、その後「パンテール」はトゥーサンの手により、実にいきいきとした表情を見せるようになる。

様々なジュエリーを飾ってきた「フィギュラティブ」な「パンテール」の美は、もちろん、時計においても健在だ。写真の時計はパンテールがケースを啜える、実に愛らしいデザイン。エメラルドのようなグリーンの色彩を目に施し、ブラックラッカーでスポッツパターンをあしらった。このモデルの見どころ



© Cartier

ラ パンテール  
CRWHPI01379  
クォーツ  
SM(23.6mm)  
ピンクゴールド、ダイヤモンド  
アリゲーターストラップ  
3,511,200円(税込)



© Cartier

ラ パンテール  
CRWHPI01297  
クォーツ  
SM(23.6mm)  
イエローゴールド、ダイヤモンド  
アリゲーターストラップ  
3,511,200円(税込)



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ  
CRWJPN0032  
クォーツ  
ミニ(25x21mm)  
イエローゴールド、ダイヤモンド  
3,379,200円(税込 予価)  
日本限定

は、見事な立体感。正面から、そして横から。見る角度によつて表情が変わる造詣の深さそのものをも楽しみたい。

そして同じく「パンテール」の名と共に愛されてきたのが、艶めきのゴールドモデルだ。前者とは異なり、パンテールのイメージを抽象化した時計は、ゴールドプレスレットを主役とする。肌に吸い付くように滑らかなプレスレットは、まさに豹の肢体を思わせるしなやかさ。ゴールドの重厚感を活かしつつも、着けたときに重さを感じさせず、かつ腕に馴染むようなコマの配置も入念に計算されている。プレスレットの裏側にまでポリッシュがかけられ、どこからみても豹の毛並みのような艶やかさを生み出した。こうした細部への作り込みは、まさにハイジュエリーのテクニクによるもの。これら二つのスタイルと共に、時を紡ぐジュエリーとも呼ぶたい、「パンテール」の魅力に触れてみてはいかがだろうか。

掲載した商品の価格は令和4年2月8日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

### Biz Life Style Pick up >>>

## 時代を超えるカルティエの美を堪能できるふたつのフェア 創業125年の歴史を誇る徳島の名店「池田時計店」で開催



ジュエリー・ウォッチブティック IKEDAプラス  
徳島市東船場町1-22 TEL.088-678-3080  
営業時間／11:00～20:00 無休

この3月に創業125周年を迎える深い歴史を誇る名店としてウォッチファンの信頼を集める「池田時計店」。3月5日(土)～8日(火)には、旗艦店の「IKEDAプラス」にて恒例となったカルティエフェアが開催される予定だ。

さらに、3月10日(木)・11日(金)にはスペシャルフェアも控えている。こちらは、美しい景観が楽しめるゲストハウスを貸し切つてのイベント。この日のために特別なコレクションも用意されているというので、見逃すわけにはいかない。

カルティエ特有の世界観に満ちたラグジュアリーな空間で不変の美を満喫できるふたつのフェア。詳細は店頭で。

■3/5(土)～8(火) 「IKEDAプラス」In store Fair ※感染拡大防止の為、下記QRコードより来店予約をお願いします。  
■3/10(木)・11(金) Special Event ※詳細は「IKEDAプラス」スタッフまでお問い合わせください。



### 取り扱いブランド

カルティエ、IWC、ラルフローレン、オメガ、センチュリー、タグ・ホイヤー、グランドセイコー、クレドールなど

<https://ikd-grp.com/>

